



## 第3会場

■司 会／ 岩切 義和(大分県) 大分県立香々地青少年の家社会教育主事  
平地 佐代子(福岡県) 九州共立大学・九州女子大学・短期大学生涯学習研究センター所長補佐

### 1 「DV 被害者」の自立と就労支援活動の経過と成果

—民間サポート・センタープログラムの論理と方法—

田崎 エミ(佐賀県佐賀市) ワーキング・サポート・センター「黄色いりぼん」代表

サポート・センターの理事は全員企業家であり、男性が主体である。活動の領域は佐賀県全域、DV に関する啓発活動を実施するかたわら、DV 被害者の就労支援事業を行っている。地域活性化のための各種補助金の交付を受け、官民の協働を工夫しながら就労支援講座の開催、啓発バザーの実施などをおこなっているが、今後の課題は、企業の調査や「出前」啓発講習会の実現等である。活動にあたっては個人情報の秘密厳守、名簿の安全管理、写真撮影の規制など被害者本人に不利益が及ばぬよう留意している。

### 2 NPO 法人「なはまちづくりネット」による新設公民館の受託経営の軌跡

—「一部業務受託」・「官民協働」・「社員の身分保障」・「専門研修」・「連携と地域サービス」の同時進行—

田端 温代(沖縄県那覇市) なはまちづくりネット代表

平成 17 年、那覇市7番目の設置となる「繁多川公民館」の業務を NPO「なはまちづくりネット」が受託。民の自由と弾力性を生かして、自治会、大学、子ども会、ふれあいプロジェクト等の事業と連携して業務を展開し、限られた予算を補い、地域との信頼関係を確立し、社会教育施設としての理念と実践のシステムを行政との協働の中で達成しつつある。

### 3 住民による住民のための異世代交流と子育て支援事業：「ちびっこ夢ランド」

—里づくり協議会「夢ランド十町」による古民家を活用した自主企画・自主運営—

岡本 尋子(熊本県和水町) 「ちびっこ夢ランド」事務局

地域住民総参加型の里づくり協議会「夢ランド十町」を結成。小学校の読み聞かせグループが発端で活動を始めた。その子育て支援部門が「ちびっこ夢ランド」である。毎月第3土曜日に古い民家を活用し、4世代の参加によって子どもの居場所を確保し、交流と活動を支援・促進している。内容は地域の人材を生かした読み聞かせ、モノづくり、おやつづくり、自然体験、文化体験など季節に応じた工夫を凝らしている。